

## 令和4年8月定例教育委員会会議録

○日 時 令和4年8月25日(木) 午後3時～午後3時50分

○場 所 榎引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦

1番 百瀬 克浩 (教育長職務代理者)

2番 清野 康子

3番 毛呂 光一

4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

### 出席議事説明職員氏名

教育部長	本間 明	参事兼管理課長	清野 健
参事兼給食センター所長	佐藤 守	学校教育課長	成澤 和則
学校教育課指導主幹	渡邊 智	社会教育課長	沼沢 紀恵
社会教育課文化財主幹	五十嵐 恭子	中央公民館長	熊坂 めぐみ
図書館長	武田 綾子	スポーツ課長	阿部 三成

出席事務局職員氏名 管理課庶務主査 奥山 真裕

### 会議次第

1. 開会
2. 市民憲章唱和
3. 会議録署名委員の指名
4. 議事

日程第1 議第24号 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価について

日程第2 議第25号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について  
(非公開)

### 5. 報告事項

- (1) 臨時代理処理事項の報告について (非公開)
- (2) 中央公民館・女性センター短期講座について
- (3) 第17回鶴岡市芸術祭について
- (4) 酒井家入部400年記念式典について
- (5) 酒井家入部400年記念歴史講座について
- (6) 藤沢周平記念館館外展示について

## 開 会 (午後3時)

- 教育長                   ただいまから8月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。
- (社会教育課文化財主幹が先唱し市民憲章唱和)
- 本日の会議録署名委員は、3番委員にお願いする。
- 教育長                   それでは議事に入る。はじめに、日程第1議第24号について、事務局より説明をお願いする。
- 管理課長                議第24号について説明する。
- 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価については、5月定例教育委員会で対象事業を議決いただいた後、点検評価個票の内容について委員からの意見をふまえ、外部評価者から点検・評価をいただいた。今般、報告書案がまとったので、改めて提案するものである。
- なお、教育委員からは、これまで当該報告書にお目通しいただき意見を頂いているので、本日は外部評価者の評価の概要を説明する。
- 初めに管理・学校教育分野だが、コロナ禍への対応を念頭に置きながら一つ一つの事務事業が市の教育目標の具現化に直結しており、的確に遂行されているとの評価をいただいた。
- 個別の事業について、「通学対策事業」では、スクールバスの運行及び通学費助成等により、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減が図られていること、「学校改築・冷房設備整備事業」では、安全安心で、ゆとりと潤いのある教育環境整備が計画的に進められているとの評価をいただいた。「地域とともにある学校づくり推進事業」では、事業効果を検証し、他地域と情報を共有できるような支援が必要との意見をいただき、「特別支援教育充実事業」では、児童生徒や教職員に対する適切な支援をさらに充実していくことを期待するとのことであった。「特色ある学校づくり推進事業」では、地域の人・物・歴史に直接触れ、深く学ぶ機会が確保されていること、「GIGAスクール構想推進事業」では、通信ネットワークの一体的な整備により個別最適化された学びの実現に向け、大きな進歩があったと評価いただいた。「学校給食センター管理運営事業」では、食育・食文化の具現化の取組みが評価されたほか、鶴岡産野菜の使用割合数値目標達成に向けて、引き続き尽力を願うと激励をいただいた。
- 次に社会教育分野だが、新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中、オンライン開催を取り入れるなど、各事業とも感染防止対策を講じながら、利用者の立場に立った事業の開催に工夫が見られ、また、どの事業も地域や市民に幅広く親しまれ、評価・方向性も妥当であるとの評価をいただいた。

個別の事業について、「家庭教育推進事業」では、市PTA連合会や学校とも連携し、更なる充実を期待するとのことであり、「文化会館管理運営事業」では、運営委員会を設置し広く意見を取り入れ事業に反映させているほか、活動内容等の情報発信も充実しており、市民参加という観点からも評価できるとのことであった。「文化財管理保存事業」では、文化財は地域の財産であり、関係者の負担軽減を図るためにも継続的に財源の確保を要するとの意見をいただき、「中央公民館市民学習促進事業」では、番組の活用方法を工夫しながら経費削減にも力を入れていることは評価でき、機器等の故障で事業が中断しないよう、今後も計画的な改修・修繕が肝要との指摘であった。「藤沢周平記念館管理運営事業」では、本市の文化や風土をより多くの方に発信できており、原作ドラマ上映会の新規実施や文学散歩での周辺施設の活用等の取組みは評価できるとのことであった。「図書館・郷土資料館管理運営事業」では、読書啓発活動のパンフレット等に工夫が見られ親しみやすくなっているほか、各種事業が幅広く展開され、市民の声を多く取り上げてもいることは評価できるとのこと、利用者や貸出冊数が増加しているのは、各種事業が市民のニーズに応えている結果であると評価いただいた。

最後にスポーツ分野だが、コロナ禍での対応により各事業展開に制限が課せられる状況下で、鶴岡市スポーツ推進計画後期改定計画の推進に努めた取組みに敬意を表するとの評価をいただいた。

個別の事業について、「ウォーキング等普及推進事業」では、コロナ禍にあっても感染対策を講じながら事業実施に努めたことが評価される一方、企業と連携するなどイベントへの参加継続や運動習慣の定着化に努めてもらいたいとの意見をいただいた。「体育施設整備・管理運営事業」では修繕計画が適切に行われると同時に、長年の要望であった屋内多目的運動施設が完成し、引き続き市民が安全安心に施設を利用できるように努めてもらいたいとの意見を、また「鶴岡市スポーツ少年団本部支援事業」では、スポーツニーズの多様化や学校部活動の地域への段階的移行など、子どもを取り巻くスポーツ環境が転換期を迎えていることを踏まえ、子どもがスポーツに親しむ機会や成長できる環境の整備に努めてもらいたいとの意見をいただいた。「ホストタウン推進事業」では、事前合宿や交流事業が無事に実施できたことを高く評価いただくとともに、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、相手国との交流発展や共生社会実現を目指した取組みを期待するとのことであった。

今後のスケジュールとして、本日の協議、議決をもとに最終決定したものを、9月初旬を目途に市議会議員に配付するとともに、市のホームページに掲載し市民に公表することとしている。

事務局としては、引き続き効果的な教育行政の推進に努めたいと考えて

いる。

教育長 学識経験者から成果について認めて頂き、また、課題等への要望も受けたところである。

「学校給食センター管理運営事業」について、鶴岡産野菜の使用割合数値目標の50%は実現可能な数値なのか、それとも、現実的には、より低い数値目標のほうが妥当なのか見解は。

給食センター  
所長 50%の目標値について、数年前は40%を超えたこともあるが、昨年は30%台となった。

この数値目標は野菜の重量で決まるものであり、重量の重い鶴岡産野菜を使用すれば数値は上がることから、今後、農協、農政課等と連携し目標に達成に向けて取り組みたい。

1 番委員 学校冷房設備整備事業について、教室と特別教室に冷房設備を整備し夏場の電力消費量は上昇していると思うが、ランニングコストへの手当はどのようなになっているのか。

管理課長 ご指摘のとおり、冷暖房設備の整備により電力消費も大きくなっている。一方、学校現場からは、子どもたちの落ち着きが全く違うなど声が聞こえるなど効果の高い事業と認識している。財政当局とも情報を共有しながら、ランニングコストについて予算を確保していきたい。

教育部長 今年も電気代が高騰しているが、通常、冷房は7月から8月までの30度を超えた日に使用することを原則としているものの、6月も30度を超えたら使用するように柔軟に対応している。

一方、昨今のコロナ対策の一環で窓の開放による換気を行うため、冷房を入れながら外気を取り込む対応を取らざるを得ない状況である。不要な電気使用やこまめな節電に心がけるよう6月中に各学校に通知したところである。

1 番委員 冬季のエアコン使用は考えているのか。暖房についてもエアコンを使用したほうがランニングコストは下げられるということを知ったが実際はどうか。

管理課長 設置している冷暖房設備は、冷房使用を基本としており暖房で使用する事は想定していない。理由として、各学校のキュービクルは冷房によって多くの容量を使用しており、さらに暖房を使用すると容量を超える学校も出てくる可能性がある。

一方、学校によって暖房設備に不具合があるところもあるため、そのような学校ではエアコンを暖房設備として、既存の暖房設備と併用することで学習環境を確保していきたい。

これから、どのように冷暖房設備を使用していくかは議論が必要であるが、いずれは、エアコンによる冷暖房使用というところ出てくると考えて

いる。ボイラー設備について30年を超えている学校もあり、設備を入替える場合、多額の費用がかかるため、施設設備の更新についても悩ましいところである。

給食センター  
所長 先ほどの教育長からの質問について、令和元年には45.4%になったこともあり、50%が達成不可能な数値目標ではないと考えている。

教育長 学校の換気について、庄内保健所所長から現場を見て頂き、クラスターが発生しないようアドバイスを頂いている。

冷房を使用しながら換気をすることは電力消費量の上昇の可能性につながると考えており、冬場も同様である。学校現場では、サーキュレーターを併用し空気が滞留しないように取り組んでいるが、廊下側で窓がない場所は換気が難しいこともあり、構造上の特殊性も注視する必要がある。

ただいまの議第24号について、他にご質問、ご意見等はないか。

それでは議第24号について採決する。賛同の方は挙手をお願いします。

各委員 (全員挙手)

教育長 全員挙手により可決された。続いての議案であるが、日程第2議第25号は議会上程前の議題のため、また、報告事項(1)は人事案件のため、非公開とすることに異議はないか。

各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、議第25号及び報告事項(1)を非公開とする。

(会議録は別記録とする)

教育長 報告事項(2)について、事務局より報告をお願いします。

中央公民館長 今年度、中央公民館3階視聴覚研修室の研修用パソコンを8月に更新したことから、パソコンの有効活用を図るとともに、デジタル化で社会が進み操作等に不安を感じているシニア層を対象に、9月13日と14日の2日間、「今ですよ！シニアのためのパソコン講座」を開催する。受付初日から問合せがあり、受付30分後には定員に達した。そこで講師に相談し、翌15日と16日の2日間、講座を追加して開催することとした。数年ぶりの開催であるため実施状況や受講者の声などを伺いながら、年度内に、また開催したいと考えている。

もう1つの講座は、例年実施している「女性のための就業支援パソコン講座」である。例年、6月頃と2月頃に実施しているが、今年度は、新しいパソコンを使用するため9月に開催するもので、募集したところ定員8名に対して8名の申し込みがあったため開講することとした。

また、9月募集の講座、中央公民館4講座、女性センター6講座が市広報9月号に掲載されるのでぜひご覧いただきたい。

教育長 ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

1番委員 シニアのためのパソコン講座の講師はどのような方か。

中央公民館長 パソコン専門の講師ではないが得意な方である。平日にパソコン講師を受けて頂く方が見つからず、以前は会社から派遣してもらったこともあるが、現在は人手不足で難しい状況である。

教育長 報告事項（３）について、事務局より報告をお願いします。

社会教育課長 昨年度、新型コロナウイルスの感染対策を講じ２年ぶりに開催した鶴岡市芸術祭だが、今年度は８月３１日から１２月３日まで、荘銀タクト鶴岡、鶴岡アートフォーラム、中央公民館などを中心に開催する。

詳しい内容は公演一覧でご覧いただきたいが、今年度は４５団体による３６公演のほか、協賛事業として各地域の文化祭も実施され、芸術の秋にふさわしい催しとなっている。なお、県民芸術祭には、３１団体による２３公演が参加する。

また、開幕式典及び記念公演は、９月４日の午後１時３０分から荘銀タクト鶴岡で開催される。今年度は「芸術文化でつむぐ鶴岡物語～創る～」をテーマに、様々なジャンルや幅広い年齢層による加盟団体と非加盟団体あわせて６団体の記念公演と加盟４団体による美術や華道などの展示が荘銀タクト鶴岡で実施される。

ぜひ、開幕式典・記念公演、芸術祭参加公演にご来場いただきたい。

教育長 ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

なければ次に、報告事項（４）及び（５）について、事務局より報告をお願いします。

社会教育課文化財主幹 酒井家庄内入部４００年記念式典第１部の「小・中学校歴史文化研究コンクール表彰式」についてご紹介する。

７月の定例教育委員会で報告した当コンクールだが、式典の中での表彰と１０月８日から１１日まで、荘銀タクト鶴岡でエントリーのあった作品を展示する予定である。

続いて入部４００年記念歴史講座だが、幕末の庄内藩をゆるがせた「三方領知替え」一件について、日本近世史専門の東京大学名誉教授藤田覚先生をお招きして開催する。参加申し込み状況についてまだ余裕があるのでご案内するものである。現在、致道博物館で開催中の特別企画展「民衆のチカラ 三方領知替え阻止運動」との連携企画となっているので、興味のある方はあわせてご覧いただきたい。

教育長 ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

なければ次に報告事項（６）について、事務局より報告をお願いします。

社会教育課長 平成２７年度から藤沢周平記念館のほか民間、公共施設を利用し藤沢周平記念館を知ってもらう機会としてパネル展示や作品題名書道展を行ってきた。今年は「藤沢作品に描かれた庄内の食」として、松ヶ岡開墾場２番蚕室１階を会場に９月１３日までを期間とし開催している。

藤沢作品には登場人物が語らいながら食事をする場面やふるさとを懐かしむ場面に鶴岡・庄内の食を書き込んでいる。食が登場する作品と、食の由来や作り方なども紹介している。

松ヶ岡開墾場にお越しの際は、ぜひ2番蚕室にも足を運んでいただきたい。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

ほかに報告事項はあるか。なければこれをもって8月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時50分）